

『同じだっていい』 作：ポチ子

前にも書いたことがあるような気がする。

だから、書くのを躊躇った。

なんとなく同じことを書いてはいけないような気がして、

書く手を止めた。

でも、それは本当にダメな事なのか。

過去の私と同じことを思ったって、

書いたって、なにもおかしくないんじゃないか。

だって私は確かに今、そう思った。

そう書きたかった。

だから書こうと思ったのだ。

それは嘘じゃない。

人は毎日変わっていくけれど、

変わらないことだってあるはずだ。

昨日の私も、今日の私も、

私は私なのだから、

同じだっていいじゃないか。